

## 児童生徒の出席の取扱い等について（更新版）

## 1 児童生徒の出席の取扱い

## (1) 基本的な考え方

『感染可能性を下げながら、結果として最大限対面授業（日常生活）を維持する』ことを目指しています。厚生労働省やベルギー公衆衛生省の見解によると、新型コロナウイルス感染症は発症48時間前から感染を広げるといわれています。よって本校ではPCR検査を受けるように指示された時点から、当該児童生徒は出席停止とし、所属集団（バブル）はオンライン授業に切り替えます。このことで、クラスター発生を抑制し、結果として長期間の対面授業を維持しています。

## (2) 児童生徒及び家族等がPCR検査を受けた場合

ア 本人及び家族がPCR検査を受けた場合は、当該児童生徒は出席停止とします。

イ 児童生徒がPCR検査を受けた場合、当該児童生徒の所属集団（バブル）は当該児童生徒がPCR検査を受けた日の翌日からオンライン授業とします。

ウ 本人及び家族のPCR検査結果が陰性であった場合は登校できます。オンライン授業としていた所属集団（バブル）は対面授業を再開します。

エ 本人及び家族のPCR検査結果が陽性であった場合は、出席停止を継続します。コンタクトトレーシングセンターの指示及び校医の意見を参考として今後の方針をお知らせします。

オ 当該児童生徒の保護者は、医師から検疫隔離解除の指示があったら学校に報告してください。報告を受け校長は、発症から10日を過ぎかつ、症状がおさまって3日以上経過しているか等を基本として、登校の是非を判断します。

## 2 よくある問い合わせについて（Q&amp;A）

Q 熱はありませんが、のどの痛みや頭痛があります。休ませた方がいいですか？

A 熱がなくても、少しでも体調が悪いと感じたときは、登校をしないようお願いしています。ホームドクターに電話相談をして必要なら受診してください。

Q 病院に行った方がいいですか？

A 37.5℃以上の熱があった場合には、病院を受診して頂くよう伝えていますが、体温にも個人差がありますので、判断に迷った場合はホームドクターに電話をして受診が必要かどうかを確認してください。

Q 欠席連絡の際に、発症した日、病状（体温や喉の痛み、咳など）を報告したいと思いますが、他にどんなことを聞かれますか。

A ご家族に症状のある方はおられないか。病院受診の有無。受診されるならこの病院か等を伺います。また、受診後PCR検査の指示があった場合はすぐに連絡をしてください。

Q 月曜日にPCR検査を受けることになりましたが、オンライン授業に切り替わりませんでした。

A 発症前48時間が感染を広げる可能性があるとの見解がベルギー公衆衛生省からも示されています。月曜日に発症したとすると48時間前は土曜日ですから、学校には影響がないと判断するケースもあります。週休日に交流のあった友人がいた場合は、濃厚接触者となりうるため出席停止とする場合があります。

Q 配偶者が出張等で赤地域に行っていました。PLFやBTAを提出していましたが、その後SMS等でPCR検査を受けるよう指示がありませんでした。この場合は子供を学校に通わせても良いのでしょうか。

A 本校では、本人及び保護者、家族、バブルの友人がPCR検査を受けることになった時点で、出席停止やオンライン授業切り替えなどの措置をとっています。PCR検査を受けなくて良い場合は、その必要がないと当局が判断しているということですから、当該児童生徒は登校できます。

Q すでにワクチン接種2回目を終えているので、これらのルールの適用除外となりませんか。

A ワクチン接種が進んでいる国において、効果が現れているという情報に接しています。しかし、ベルギー政府当局がワクチン接種者を特別に扱うといったルールを示さない限り、本校ではワクチン接種の有無による区別は考えておりません。実際、ワクチン接種済みの方の感染例が多く報告されています。

Q 一時帰国その他により新型コロナウイルス感染症の陰性証明が必要となりました。このためPCR検査を受けますが、出席停止となるのでしょうか。

A 感染が疑われるために受けるPCR検査でなく、陰性証明取得のためのPCR検査の場合は出席停止等の措置はありません。ただし、この検査で陽性だった場合は速やかに学校に報告して下さい。

Q 風邪症状や風邪症状のため念のため学校を休ませる場合は出席停止とするとなっています。その場合、兄弟姉妹は登校できるのでしょうか。

A 感染予防のための出席停止措置ですから、兄弟姉妹も一緒に出席停止となります。もちろん、感染可能性がなく、風邪との診断があれば出席できます。

## 3 その他

ブラッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応について（第15報）に学校の取組の詳細を示しております。併せて、これまでの取組をアップデートした第18報までをご参照ください。

どれだけ気をつけていても、生活を営む中では完全に人を避けることはできません。そのため、新型コロナウイルス感染症が発生してしまうことは致し方ないことです。

本校関係者から新型コロナウイルス感染症をださない努力を皆で協力し取り組んでいます。しかし万が一、日本人学校の関係者が感染した場合、その時はお互いに助け合い励まし合う。それがブラッセル日本人学校の成員として当たり前のことです。「励まし合い、高め合い、志し高く」の精神で落ち着いて対応して参りましょう。